

茨木と小豆島の交流・活性化をテーマに学生主体で取り組む活動です

茨木×小豆島コラボプロジェクト

追手門学院大学 成熟社会研究所



Since 2016

発行：追手門学院大学 成熟社会研究所（茨木×小豆島コラボプロジェクト）
〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 seijuku@otemon.ac.jp
発行日：2022年12月1日（初版）

※本冊子に掲載されたコンテンツ・写真・テキストの無断転載・複製を禁じます。

Contents

- 01 小豆島プロジェクトを知り・繋がり・愛する
- 02 受け継がれる小豆島への愛
- 03 想いや愛を新たな形で繋げる
- 04 『しそとことん』のすべて①
- 05 『しそとことん』のすべて②
- 06 『しそとことん』へのこだわり
- 07 『しそとことん』で直接伝える思い
- 08 3年目のビールと新たな試み
- 09 茨木市と島を繋ぐ新しいカタチ①
- 10 茨木市と島を繋ぐ新しいカタチ②
- 11 茨木市で島と繋がり、伝える
プロジェクトをもっと知るなら・・・



小豆島を知り・繋がり・愛する

小豆島プロジェクトは2016年、大学の共同研究調査に参加したことが起源です。その際に島に魅了された1期のメンバーは、その後も島との交流を続けていきます。その中で見つけた①秋祭りに参加する、②島でインターンシップを開催する、の2つのゴール。しかし、ゴールを達成するには、小豆島島民への仲間入りが必要となります。島民への仲間入りを実現する手段としてコラボビール『しそとことん』の開発、販売を目指して活動がスタートします。



茨木と小豆島の交流・活性化をテーマに学生主体で取り組む活動です

茨木 × 小豆島コラボプロジェクト

追手門学院大学 成熟社会研究所



受け継がれる小豆島への愛

1期から引き継いだ、2期・3期はプロジェクトや小豆島への愛を受け継ぎながらコラボビール『しそとことん』の実現に向けて活動を展開します。赤しその購入や販売先の確保など、茨木市内での繋がり構築を同時に進めていきます。自ら、茨木市内に出歩きプロジェクトの説明や『しそとことん』の説明を行いました。2期・3期のメンバーと繋がった茨木市民の方々は、現在も小豆島プロジェクトの応援団として様々な場面でご協力頂いています。



茨木と小豆島の交流・活性化をテーマに学生主体で取り組む活動です
茨木×小豆島コラボプロジェクト
追手門学院大学 成熟社会研究所



想いや愛を新たな形で繋げる

コラボビール『しそとことん』が完成した2020年以降、小豆島プロジェクトは新たな交流の手段を模索し始めます。その中で先輩方が残してきた小豆島での調査結果の再考や茨木市内で展開されている市民活動に出会います。この役割を担うのは現在の小豆島プロジェクトを担っている4期・5期のメンバーです。受け継がれてきた愛をさらに大きくしながら活動を展開しています。これまで①オンライン運動会、②姉妹都市コラボ商品の開発、を行いました。



『しそとことん』のすべて①

小豆島プロジェクトでは『しそとことん』の製作から販売まですべての過程に携わります。まずは、購入した赤しその葉摘みの作業です。赤しその葉を1枚1枚手作業で摘み取ります。摘み取った赤しそは、小豆島のビール醸造家のもとへお送りします。そして、実際にメンバーも小豆島へ渡り、ビール作りに携わります。摘み取った赤しそを綺麗に洗う作業や、原料の1つである麦芽を挽く作業も行います。



『しそとことん』のすべて②

粉碎した麦芽を大きな釜で混ぜていきます。この釜は私たちの身長程度の大きさの釜であり、体験した作業で最も体力を消費する作業でした。その後は綺麗に洗った赤しそを釜の中に入れていきます。釜に入った赤しそは葉から色が抜け緑色に変化します。その後、熟成させる過程を踏まえたのち『しそとことん』は完成です。熟成前の出来立てのビールは艶やかオレンジ色で温かいビールあり、試飲させて頂いた事は非日常な経験となりました。



茨木市の名産品「赤しそ」×小豆島産ビール

『しそとことん』

登場

【至極の一杯を醸しもうとしている貴方へ】
 私たちは、追手門学院大学がある茨木市とその姉妹都市である香川県小豆島の双方の活性化を目的に学生主体で活動を行っています。その活動の一環として大阪府茨木市の名産である「赤しそ」を副原料として使用し、小豆島の「まめまめびーる」とコラボビールを開発しました。

ビールの常識を変える艶やかな色合いで、一口目からふわっと感じる赤しその香りが特徴です。口当たりも爽やかな酸味も感じるすることができます。そんな魅力が詰まったビール。どうぞ、心行くまでお楽しみください。

(公財) 日本醸造センターの人材育成基金助成事業による助成を受けています。





追手門学院大学
 『茨木×小豆島プロジェクト』×茨木市「赤しそ」×小豆島「まめまめびーる」

コラボビール しそとことん

追手門学院大学×茨木市×小豆島



追手門学院大学と茨木市と姉妹都市である小豆島の双方の活性化を目的とし、活動を行っています。活動の一環として、大阪府茨木市の名産である「見山の赤しそ」と小豆島の醸造所「まめまめびーる」とでコラボビールを開発しました。

昨年度は好評が即売終了。今年度は大好評で即売終了。赤しその艶やかな色合いとふわっと感じる赤しその香りが特徴です。口当たりも爽やかな酸味も感じるすることができます。そんな魅力が詰まったビール。どうぞ、心行くまでお楽しみください。





『しそとことん』への こだわり

これまで2年間にわたり『しそとことん』を販売してきました。私たちは、小豆島でのビール作成の参加に加えて、ラベルやチラシの作成も行います。赤しその収穫時期を旬に近づけ、赤しその発色を改良したり、毎年ラベルを更新し、その年ならではのビール作りに励んでいます。

また、チラシも、情報を届けたい世代の方を意識して作成するなど、視覚からも小豆島プロジェクトに興味を持って頂けるよう工夫しています。



茨木と小豆島の交流・活性化をテーマに学生主体で取り組む活動です

茨木×小豆島コラボプロジェクト

追手門学院大学 成熟社会研究所



『しそとことん』で直接伝える想い

販売1年目(2020年)には「いばらき青空マルシェ」にて、メンバーによる手売り販売を行いました。また、当日は現地での飲み切り型での販売方法だったため、味や感想を聞く事も出来ました。茨木市長の福岡洋一様にもプロジェクトの紹介や『しそとことん』の試飲を頂いたことは、当時のメンバーにとって、誇らしく感じる瞬間でした。小豆島プロジェクトでは活動の背景やこれまでの活動、目指すゴールを『しそとことん』とともに伝えることを大切にしています。



茨木と小豆島の交流・活性化をテーマに学生主体で取り組む活動です
茨木×小豆島コラボプロジェクト
 追手門学院大学 成熟社会研究所



3年目のビールと新たな試み

2022年6月23日、『しそとことん』3年目の取り組みが始まりました。今年の赤しそは32キロと過去最高の量を使用します。また今年初の試みとして本学の地域創造学部の1年生に赤しそ葉摘みワークショップへ参加して頂きました。3年目を迎える『しそとことん』を使い、学内での小豆島プロジェクトの認知向上にも努めています。また、3年目となる今年には従来とは異なる新しい種類の『しそとことん』の開発が進められています。



茨木市と島を繋ぐ新しいカタチ①

2022年10月8日、茨木市と小豆島を繋ぐ新しいカタチとして「オンラインスポーツ大会」を小豆島の社会福祉法人サンシャイン会にご協力頂き開催しました。競技内容として、①傘玉入れ、②箱の中身はなんだろう、③スプーンリレーを実施。メンバーは高齢者体験キットを着用し、体の動きにくさを体験しながら実施しました。今後は姉妹都市交流をより活性化させるため、茨木市と小豆島の福祉施設と小豆島プロジェクトを繋いだ共同開催を目指しています。



茨木と小豆島の交流・活性化をテーマに学生主体で取り組む活動です
茨木×小豆島コラボプロジェクト
 追手門学院大学 成熟社会研究所



茨木市と島を繋ぐ新しいカタチ②

2022年10月23日、茨木市と小豆島を繋ぐ新しいカタチとして「ふわふわだし巻きサンド」をIBALAB@広場で開催されている「晴天ニ恵マレテ」にて販売しました。これは茨木市産の卵と食パン、小豆島産の醤油を使用した商品で、アルコールが飲めない方でも姉妹都市交流を感じて頂きたく企画しました。ご協力頂いたのは、初代いばらき応援団長であり茨木コモンズのメンバーでもある赤田裕明様。当日は見事完売し大成功を収めました。



茨木と小豆島の交流・活性化をテーマに学生主体で取り組む活動です
茨木×小豆島コラボプロジェクト
 追手門学院大学 成熟社会研究所



茨木市で島と繋がり、伝える

2022年11月19日・20日の2日間、「第42回茨木市農業祭～都市と農村のふれあいを求めて～」が開催されました。当日は姉妹都市関係である小豆島町の特産品販売ブースが開設され小豆島町から6つの団体が出店。そのうち3団体で商品販売や島の魅力PRのお手伝いを実施。島の方々と一緒に、小豆島の魅力を商品とともにお伝えしました。終了後に島の方々からの感謝のお言葉を頂いた事は、私たちの今後の活動のさらなる原動力になっています。

また、小豆島プロジェクトブースも設置し、6年の活動を示した写真展も開催し、小豆島プロジェクトの活動の認知向上にも努めました。



茨木と小豆島の交流・活性化をテーマに学生主体で取り組む活動です

茨木×小豆島コラボプロジェクト

追手門学院大学 成熟社会研究所

プロジェクトをもっと知るなら・・・

追手門 小豆島プロジェクト

検索



■SNS(Instagramをメインに更新中)



SDP.OTEMON

Instagram
ID: sdp.otemon



Twitter
ID:@sdpotemon



Facebook
ID: sdp.otemon

■動画 (追手門学院大学公式チャンネル)

「茨木と小豆島をつなぐクラフトビールを商品化～学生インタビュー」



#頑張る追大生VOICE

茨木と小豆島をつなぐクラフトビールを商品化～学生インタビュー (追手門学院大学)



追手門学院大学公式チャ...
チャンネル登録者数 1990人

チャンネル登録

👍 8



共有

保存

...



